

3.  
仲  
国.

M-0426

0213

分類 M215/0.1-11)  
5027521

歌米局

第一課

昭和參年 壹月 拾九日

日本郵政省 郵政局長

附屬書添附

外國駐在 各領事館 宛  
郵政省 郵政局長 宛  
（印）

在オデツサ

領事島田

滋

在オデツサ  
日本帝國  
領事館  
印

外務大臣 男 節田 中義 殿

在オデツサ 日本帝國領事館

伊大和領事館 領事 橋本 事件ニ関スル件。  
当地伊大和領事館 領事 ヲトシケル氏ハ  
在任一年餘ニ亘リ 病氣ヲ移シテ外  
部トノ交際ヲ一切行ハズ 然ルニ  
國婦人ヲ妻トシ之ニ對シ 外國  
品輸入ノ便宜ヲ計リ又管内ニテ  
ヲウケレヨシヲ行ヒテ輸入品ノ  
賣却ヲ許シ此細ナル新行上ノ事

外務省

M-0426

0214

二牛庵<sup>ニウアン</sup>外交委員ヲ煩ハシ居<sup>ル</sup>ナリ  
 伊古利ヨリノ七命革命党員ヲ  
 悉<sup>ス</sup>ル事甚<sup>シ</sup>ク殊<sup>ニ</sup>副領事殺害事  
 件後ハ神経過敏トナリ居タル關係  
 上当地官憲側ヨリ再<sup>ニ</sup>持論サレ居タ  
 ルが其ノ結果莫斯科政府ハ伊國  
 政府ニ対シ<sup>テ</sup>トシケル氏召還方ヲ  
 内密申出タル<sup>紙</sup>ニテ遂ニ今回氏ハ

外務省

帰郷シ後任トシテ約三十六才下院  
 議員タル<sup>フ</sup>メリアニ氏ノ末任ヲ見  
 ル事トナリ<sup>メ</sup>氏ハ一月末若任ノ  
 苦ナリ<sup>ト</sup>曩ニ土耳其副領事が使  
 用<sup>人</sup>政打ノ<sup>ノ</sup>ぬ<sup>メ</sup>莫斯科政府ヨリ  
 召還方ヲ要制セラレタル事アリ  
 今回又伊古利總領事ノ召還  
 事件アリ推<sup>テ</sup>ニ吊<sup>テ</sup>農治下ニ駐

外務省

502.7571

|                              |     |
|------------------------------|-----|
| 公第 四三 號                      | 第一課 |
| 昭和參年 壹月 卅壹日                  |     |
| 在オデッサ                        |     |
| 領事 島田                        |     |
| 外務大臣 岡田 四郎 殿                 |     |
| 在オデッサ 伊太利 領事                 |     |
| 一 交代 一 同 報告 一 件              |     |
| 在オデッサ 伊太利 領事 エル・トネル氏         |     |
| (Comm. de Jomelka) 氏 今般 オデッサ |     |
| に 托 命 せ ざ り ぬ 何 國 迄 船 二 三    |     |

在オデッサ日本帝國領事館

|                 |
|-----------------|
| 在スル外国領事ハ餘程公私共日常 |
| 生活上注意スルヲ要スルモノトモ |
| 謂フヘシ            |
| 本領事 送附先 在露大使    |

外務省

M-0426

02 16

M-0426

0217

少費帰朝ノ事ナリ、後任者トシテ伊子  
國府秘書 フランシエス、アリアノ氏 (Hran-  
esco Mariani) 氏命セラル、一月  
三十一日伊子氏病入院着任セリ、若  
トシケン氏ハ病氣ナリ、面会ヲ 謝絶中  
ナリ。  
本館 出ル  
本館 出ル  
在オデッサ日本帝國領事館

7

分類  
102.7571  
公第 五九號  
昭和四年六月拾九日  
在オデッサ  
領事島田 滋  
外務大臣 岡田 田中義一殿  
在オデッサ伊子氏總領事  
交通、同ムニ件  
昭和四年七月拾七日  
記





ノ旨発表セラレタルカ其後数ヶ月ヲ在ルモ赴任ヲ  
見ス副領事ダクンツオ氏代理ノ儘本年ニ及ヘリ  
本年一月在モンテカルロ總領事トマジ氏オデツ  
總領事ニ決定セル旨発表セラレ其ノ赴任期ハ  
未定ト傳ヘラレタルカ本月十五日在氏ノ突然  
莫斯科を由テ着任セリ  
在氏ハ年齢五十才位独身ニシテ未來ノ外務省  
官吏タリ各地ニ駐在シタルヤルモ露西並ニ  
スラブ系ノ國ニ在勤ニタラズト無ク從而事ヲ佛蘭西  
諸國以テ好露其他國領事等ニ接シ居レリ、カ  
ンツオ副領事ノ来任後一ケ年半ニ及ビ代理期間モ  
九ヶ月ヲ算セルヲ以テ近ク賜暇歸朝ス可ク和ヒ第  
地ニハ帰還セサルヤハ漏シ居レリ

CII

|                                   |               |
|-----------------------------------|---------------|
| 参考迄ニ現在オデツオニ在ケル領事館ノ名簿ヲ<br>掲クレタルノ如シ |               |
| 伊國總領事館                            | トマジ氏          |
| 副領事                               | ダクンツオ氏        |
| 独逸領事館                             | ロフト氏(目下休暇歸朝中) |
| 領事                                | フエリツ氏         |
| 書記生                               | ハーン氏          |
| 商務嘱託                              |               |
| 少耳古領事館                            | ヤミル・ハムターヘイ氏   |
| 販事                                |               |

CII

M-0426

0219



劉領事

本信寫送付先  
在露田中大使

氏  
最近ハトシム  
ヨリ来化

CII

昭和10 一八一三三 暗

莫斯科  
本省

十一月十三日 後發  
大田大使

廣田外務大臣

第五六七號

十一日伊國大使ノ茶會ニ於テ酒匂ハ「ブリット」大使ノ祕書ヨリ同  
大使カ近ク歸米ノ旨聞キタルニ依リ同大使ニ對シ夫レト無ク再ヒ歸  
任スルヤ否ヤヲ質シタル處同大使ハ本月二十三、四日頃當地發歸米  
ノ途ニ就キ明年二月上旬迄ニハ歸任ノ豫定ナリト告ケタル上更ニ極  
メテ内密ノ話ナリトテ「ル」大統領ニ於テ當國ニ對シ何等力新タナ  
ル措置ヲ執ルコトヲ決意セサル限リ自分トシテハ歸任セサル心組ナ  
ル旨内話セル趣ナリ  
米へ轉電セリ

10. 10.

外務省

綴  
原書  
200.0元  
米、蘇外交係雜  
在

M-0426

0220



M-0426

0221

(分類) M25.0.1-1)

人  
多  
様  
な  
手  
記

機密公第三八號  
昭和十二年三月八日  
在オデッサ  
領事 平田  
外務大臣 佐藤 尙武 殿  
伊國總領事ノ人物經歷ニ關スル件  
當地在勤伊國總領事「スカルバ」氏ハ小官トノ屢次ノ會談ニ於テ大  
戰後「フアシスト」黨ヨリ獨逸ニ派遣セラレ「ナチ」幹部連トノ聯  
絡ニ當リ居タル關係上現在英獨國大使「リベントロフ」「ゲツベル  
ス」「ライ」「ヒューンライン」等ノ諸氏ハ勿論實業界ニアリテモ  
「ジーメンズ」總支配人ナトハ最も親密ナリトハ聞及ヒ居タルカ今  
同氏ニ接近セル某氏ヨリノ内報ニ依ルニ「スカルバ」氏ハ「フア  
シスト」黨有力者ノ一人ニシテ大戰中ハ境國及瑞西ニアリテ重要事  
務ヲ執掌シ其功績ニ依リ戰後外務省ニ入り印度「アラガニスタン」

在オデッサ日本領事館

(分類) M25.0.1-1)

公第一六三號  
昭和十一年十月二十四日  
在オデッサ  
領事 平田  
外務大臣 有田 八郎 殿  
伊國總領事更迭ノ件  
當地在勤伊國總領事「バルドウツイ」氏ハ今回離任スルコト、ナリ  
其後任トシテ「スカルバ」(Gino Scarpa)氏任命セラレ同官  
ハ十月二十三日本官ヲ來訪セリ「ス」氏ハ前任地「カルカッタ」ヨ  
リ來任セル由ナリ  
右報告ス  
本信寫送付先 在蘇大使

在オデッサ日本領事館

歐亞局

外國駐在各國外交官、領事官異動情報  
昭和十一年十月拾貳日接  
11.11.13

(分類例 2, 5, 0, 1 = 17)

|             |                     |                     |                       |    |            |       |         |     |         |                 |
|-------------|---------------------|---------------------|-----------------------|----|------------|-------|---------|-----|---------|-----------------|
| 電<br>信<br>案 | 皆時出校ノ延期ニ当地ニ滞在スヘキニ付キ | ハ無事着常體ニ元氣アルカ他薪田戰ノ結果 | 貴地駐劄件取上便先人及レリイニ事記ニ付先人 | 平略 | 電送第        | 23084 | 號       | 主管  |         |                 |
|             |                     |                     |                       |    | 昭和16年6月22日 | 前後    | 時       | 分   | 發       | 砂丘上上            |
|             |                     |                     |                       |    | 件          | 名     | 宛       | 在 薪 | 建 川 上 便 | 件 取 上 便 先 人 等 1 |
|             |                     |                     | 第 六 二 一 號             |    | 記録件名       | 發     | 松 岡 工 兵 | 主任  |         |                 |

(日本標準規格 B5)

「シンガポール」等ニ在勤シ其間元土木大臣タリシ「ロツソニ」氏ト共ニ獨逸ヲ訪問シ取ハ「チアネツチ」(二月中旬獨逸ヲ訪問セル伊國工業労働者聯合長)ト共ニ本國ニアリテ活動セル黨内有數ノ腕利ノ一人ナリトノコトナリ

右何等御參考迄報告ス

本信寫送付先 在蘇大使

在オデッサ日本領事館

**M-0426**

0222

寫送先

弘 祕 會 文 儀 人 調 條 通 政 顧  
報 官 計 書 典 事 查 約 商 務 問

大臣  
次官

極  
秘

電信課長

(分類 442,5.0.1-11)

昭和19 六五〇六 暗

カブール 四月二十五日一四〇〇發  
本省 二十六日〇九〇〇着

外務省

重光外務大臣

七田公使

第一五一號

(「カロニ」ノ駐蘇大使ニ關スル件)

二十四日蘇聯邦参事官離任挨拶ノ爲來訪ノ際本使ヨリ「カロニ」  
伊太利國公使ノ駐蘇大使説ニ觸レ同人ハ最近英側ニ甚タ不評判ノ  
様ナルカト述ヘタル處参事官ハ「カ」カ國境種族問題ノ真相ニ精  
通スルコト右不評ノ原因ナルヘキカ蘇側トシテハ氣象ノ要ナク本  
人カ「バルカン」及中東通ナルコトハ今後ノ兩政府連絡者トシテ  
適任ト認メ承認ヲ與ヘタルモノト考フ當地蘇大使館トシテモ「カ」

電信案

外務省

右ノ次等参事官ハ蘇聯側ノ交通網アリ度ヲ為所  
夫人ノ能ハハ夫ノ中身人ノ言ヲ氣遣ヒ居ルハ  
キ一俾モハ新蘇聯戦ムリト傳ヘリル右ノ國ヲ折返  
ニ聲報アリ度ニ

(日本標準規格B6)

M-0426

0223

極  
秘

電信寫

2

夫妻（夫人ハ露西亞人）トモ從來ヨリ蘇聯邦ニ對シ好意ヲ有シタ  
ルヲ以テ承認方推薦セルモノニテ本人ハ差當リ外交代表ノ資格ニ  
テ數日中ニ出發任ノ答ナリト語レリ  
在蘇大使ヘ轉電アリタシ（轉電済）

外務省

M-0426

0224